

平成27年度事業計画書

公益財団法人かながわ考古学財団

平成27年度事業計画

1 事業の目的と基本方針

当財団は、定款第3条に定める法人の目的に則り、神奈川県内の埋蔵文化財の発掘調査の需要に応え、県民を始め広く埋蔵文化財の保護に対する理解を深めることによって、学術・文化の振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とします。

また、運営の効率性を高めるとともに、運営の判断のスピードを上げる必要があります。そのため事業実施域内の発掘調査の需要を的確に把握し、適正な受注体制を整える一方、職員個々の能力をさらに向上させることで効率的な運営を行い、今後の安定した経営基盤の確立を目指します。

2 事業運営方針

上記目的の達成のため、神奈川県内の埋蔵文化財行政と連携を保ちつつ、公益目的事業として神奈川県内の埋蔵文化財の発掘調査とその成果の公開・活用を目的とした普及事業を実施いたします。公益目的事業の実施に当たっては以下の点に重点を置き、事業を遂行します。

- ①不特定多数の利益に寄与しているか
- ②事業実施コストは適正か
- ③コンプライアンス(法令遵守)の観点から適切か

また、平成27年度は新東名高速道路の建設事業を早く進めたいという事業者からの強い要望があり、発掘作業の受託量が大幅に増えることが見込まれます。

引き続き全体の受託事業量が増加傾向にあることから、業務を安全かつ効率的に実施する体制を整える必要があります。職員の業務遂行能力と、コスト意識を高めることを引き続き目指します。

事業の内容としては、発掘作業として上粕屋・石倉中遺跡など9件の継続事業、原宿町八幡山遺跡など5件の新規事業の計14件を、出土品等整理作業として宮山中里遺跡など4件事業を実施するとともに、小原第3遺跡・小原台堡塁跡など9件の報告書を刊行いたします。事業者との契約件数としては、13件を予定しております。

また、会計検査院により事業者である国土交通省に対し埋蔵文化財調査の会計処理に

ついて厳しい指摘がされております。これを受けて文化庁から県教委に対し、より厳密な費用の精算方法を取るよう要請がありました。当財団としても適切な対応に努めてまいります。

普及事業については、発掘調査現場を活用した遺跡見学会や発掘調査成果発表会等を実施するとともに、機関誌・情報誌の刊行を実施することにより、発掘調査の成果を県民をはじめ、広く一般に還元いたします。

また当財団の本部事務所の取得のため、本部事務所等取得積立資産への積み立てを継続して行います。

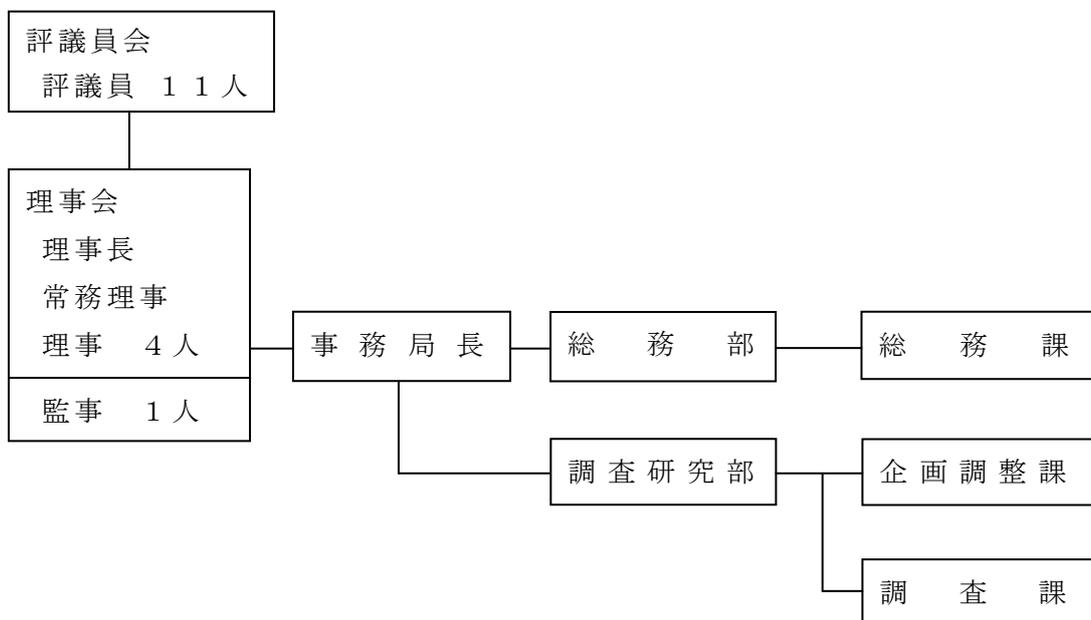
3 会議の開催

財団運営の円滑な執行を図るため、評議員会及び理事会等の会議の開催を次のとおり計画しております。

- ・理事会 4回（5月14日、6月初旬、12月及び、平成28年3月を予定。ただし、必要に応じて臨時理事会を開催することがあります。）
- ・評議員会 1回（定時評議員会 6月初旬）
- ・顧問報告 1回（不定期）

4 組織

事務執行体制は以下の組織図のとおりです。



5 事業計画

(1) 埋蔵文化財の発掘調査とその成果を活用した普及活動(公益目的事業)

① 埋蔵文化財発掘調査の発掘作業

現地での発掘作業を以下のとおり実施いたします。

No.	遺跡名	事業内容	事業者	所在地	期間	備考
1	上粕屋・石倉中遺跡	厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	国土交通省 関東地方整備局	伊勢原市	平成27年4月1日～ 平成27年10月31日	継続事業 (25年度～)
2	上粕屋・和田内遺跡	厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	国土交通省 関東地方整備局	伊勢原市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (26年度～)
3	上粕屋・石倉中遺跡	厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	国土交通省 関東地方整備局	伊勢原市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (26年度～)
4	西富岡・向畑遺跡ほか	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	伊勢原市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (18年度～)
5	上粕屋・御伊勢ノ森遺跡ほか	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	伊勢原市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (21年度～)
6	子易・中川原遺跡ほか	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	伊勢原市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (24年度～)
7	寺山中丸遺跡	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	中日本高速道路株式会社 秦野工事事務所	秦野市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (25年度～)
8	蓑毛小林遺跡	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	中日本高速道路株式会社 秦野工事事務所	秦野市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (25年度～)
9	横野山王原遺跡	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	中日本高速道路株式会社 秦野工事事務所	秦野市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (26年度～)
10	伊勢原市No.74・205遺跡	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	伊勢原市	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	継続事業 (26年度～)
11	上粕屋・和田内遺跡	厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	国土交通省 関東地方整備局	伊勢原市	平成27年5月1日～ 平成27年7月31日	新規事業
12	伊勢原市No.74・205遺跡	厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	国土交通省 関東地方整備局	伊勢原市	平成27年5月1日～ 平成28年3月31日	新規事業

No.	遺 跡 名	事 業 内 容	事 業 者	所 在 地	期 間	備 考
13	原宿町八幡山 遺跡ほか	高速横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	国土交通省 関東地方整備局	横浜市	平成 27 年 7 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 31 日	新規事業
14	上粕屋・和田内 遺跡	厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘作業	国土交通省 関東地方整備局	伊勢原市	平成 27 年 11 月 1 日～ 平成 28 年 2 月 28 日	新規事業

注：No.1とNo.3、No.2とNo.11とNo.14、及びNo.10とNo.12はそれぞれ別地点での発掘作業です。

②埋蔵文化財発掘調査の出土品等整理作業

現地での発掘作業に引き続き、出土した遺物および遺構データの整理を行い、調査報告書の原稿を作成いたします。

No.	遺 跡 名	事 業 内 容	事 業 者	所 在 地	期 間	備 考
1	小原第3遺跡 小原台堡壘跡	防衛大学校浴場棟新設に伴う埋蔵文化財出土品等整理作業	防衛省 南関東防衛局	横須賀市	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 30 日	平成 26 年度発掘作業
2	戸田小柳遺跡	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財出土品等整理作業	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	厚木市	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 7 月 31 日	平成 24～26 年度発掘作業
3	宮山中里遺跡、 倉見川端遺跡、 倉見川登遺跡	さがみ縦貫道路建設事業に伴う埋蔵文化財出土品等整理作業	国土交通省 関東地方整備局	高座郡 寒川町	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 31 日	平成 16～26 年度発掘作業
4	跡堀遺跡他	発掘作業先行実施に伴う、出土品等の「基礎的整理」の実施	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	海老名市 他	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 31 日	遺物洗浄・注記、撮影済写真の整理等

③埋蔵文化財発掘調査の報告書の刊行

出土品等整理作業の結果、完成した原稿により調査報告書を300部印刷・製本し、所定の配布先に送付いたします。

No.	遺跡名	事業内容	事業者	所在地	予定ページ数	備考
1	戸田小柳遺跡	秦浜線鉄塔移設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	東京電力株式会社	厚木市	106	平成27年9月刊行 平成26年度に整理作業期間終了
2	上粕屋・和田内遺跡	秦浜線鉄塔移設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	東京電力株式会社	伊勢原市	76	平成27年9月刊行 平成26年度に整理作業期間終了
3	上粕屋・和田内遺跡	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	伊勢原市	422	平成27年12月刊行 平成25年度に整理作業期間終了
4	西谷町山王通遺跡	都市鉄道利便増進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	横浜市	136	平成27年12月刊行 平成26年度に整理作業期間終了
5	小原第3遺跡 小原台堡塁跡	防衛大学校食堂及び厨房施設新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	防衛省 南関東防衛局	横須賀市	546	平成27年12月刊行
6	小原第3遺跡 小原台堡塁跡	防衛大学校浴場棟新設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	防衛省 南関東防衛局	横須賀市	166	平成28年3月刊行 ②出土品等整理作業-1の報告書刊行
7	戸田小柳遺跡	新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	中日本高速道路株式会社 厚木工事事務所	厚木市	362	平成28年3月刊行 ②出土品等整理作業-2の報告書刊行
8	宮山中里遺跡	さがみ縦貫道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	国土交通省 関東地方整備局	高座郡 寒川町	332	平成28年3月刊行 ②出土品等整理作業-3の報告書刊行
9	倉見川登遺跡	さがみ縦貫道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	国土交通省 関東地方整備局	高座郡 寒川町	346	平成28年3月刊行 ②出土品等整理作業-3の報告書刊行
合計					2,492 頁	

④発掘調査の成果を活用した遺跡見学会、出土品展示会等の普及事業を以下のア～キのとおり実施いたします。

ア 遺跡見学会

近年、遺跡周辺の住民や市町村などからの、発掘調査成果について速報的公開を求めるニーズが高くなっております。また、発掘調査成果を広く一般に還元するため、通常目にする事のない現在進行中の発掘調査の現場を公開いたします。参加者の対象が近隣住民から考古学に関心のある層までと幅広いため、埋蔵文化財の保護に関する理解を深める効果が高いと考えられます。以上により、平成 27 年度に調査中の下記の遺跡について見学会を開催いたします。

No.	遺跡(地区)名	遺跡の内容	開催予定時期	参加人数(見込み)	備考
1	子易・中川原遺跡他	縄文～中世	平成 27 年 4～7 月	150 人	
2	上粕屋・石倉中遺跡	縄文～中世	平成 27 年 7～9 月	150 人	
3	西富岡・向畑遺跡	縄文～古代	平成 27 年 8～11 月	150 人	
4	寺山中丸遺跡 ・蓑毛小林遺跡	縄文～古代	平成 27 年 9～12 月	150 人	
5	横野山王原遺跡	縄文～中世	平成 27 年 9～12 月	150 人	
6	伊勢原市No.74、 206 遺跡	縄文～中世	平成 27 年 10～12 月	150 人	
7	上粕屋・和田内遺跡	縄文～中世	平成 27 年 10 月 ～平成 28 年 2 月	150 人	
8	原宿町八幡遺跡	縄文～中世	平成 27 年 10 月 ～平成 28 年 2 月	150 人	

なお、調査の進展により開催予定時期等を変更する場合があります。

また、上記の見学会で遺跡の概要等を説明したパンフレットを各回 600 部(予定)印刷し、会場にて配布いたします。

イ 発掘調査成果発表会・発掘調査成果展示会

当財団が平成 26 年度に実施した発掘調査の成果の発表を行います。発掘調査の成果に関連した出土品展示会を併設し、考古学に関心のある参加者に、より興味と関心を深めていただくことを目的として実施いたします。

No.	行 事 名	開催予定時期	会 場	参加人数(見込み)	備 考
1	発掘調査成果発表会 ・発掘調査成果展示会	平成 27 年 7 月	未定	200 人	

ウ 公開セミナー(東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業)

県下で注目を集めた発掘調査の成果の中からテーマを定めて、発表・討論等を行います。本年度は、当財団が当番法人となり、東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業として実施いたします。

No.	行 事 名	開催予定時期	会 場	参加人数(見込み)	備 考
1	公開セミナー	平成 27 年 12 月 ～平成 28 年 2 月	未定	300 人	神奈川県内で実施

エ 考古学特別研究講座

出土品等整理作業が終わった遺跡の検証報告会を開催し、発掘作業から出土品等整理作業、報告書の刊行に至る当財団の調査業務を紹介します。調査の速報ではなく、より掘り下げた調査成果を、解説することで、考古学の普及に寄与することを目的として開催いたします。

No.	行 事 名	開催予定時期	会 場	参加人数(見込み)	備 考
1	考古学特別研究講座	平成 27 年 8～9 月	神奈川県 埋蔵文化財センター	80 人	

オ 関東考古学フェア、「発掘された日本列島」展への協力

全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会主催の「関東考古学フェア」を、関東ブロック協議会加盟法人とともに実施いたします。各加盟法人が実施する普及事業をめぐるスタンプリー等を実施し、県域を越えた広報を行うことにより、当財団のその他の普及事業の県外参加者に対するアピールが期待されます。

また、文化庁が主催する発掘速報展、「発掘された日本列島」展の東京会場（江戸東京博物館）の開催事務局を担当し、展示解説員を派遣します。

カ 刊行物

発掘調査の概要をはじめ平成 26 年度の事業内容をまとめた「年報 22」、研究プロジェクトの研究成果をまとめた「研究紀要 21 かながわの考古学」、発掘調査中の遺跡の最新情報や行事案内を掲載した「考古学財団発掘帖」を定期刊行物として刊行するほか、刊行した調査報告書を実費により頒布します。また、平成 26 年度に実施した、公開セミナー「考古学から見る中世都市鎌倉の海浜地域」の記録集を刊行します。

No.	刊行物の名称等	刊行部数・回数	備考
1	かながわ考古学財団 年報 22	600 部 ・ 1 回	
2	研究紀要 21 「かながわの考古学」	850 部 ・ 1 回	
3	かながわ考古学財団調査情報誌 「考古学財団発掘帖」	3,000 部 ・ 2 回	平成 27 年 8 月(通巻 23 号)、 12 月(通巻 24 号)刊行
4	調査報告書の有償頒布	9 部(10 冊ずつ)	実費による頒布
5	平成 26 年度公開セミナー 「考古学から見る中世都市鎌倉の海浜地域」 記録集	500 部	

キ 地域文化の振興を目的とした事業

伊勢原市の実施する埋蔵文化財関連行事について、当財団の調査成果を展示するなど、共催いたします。また、寄付を受けた蔵書を希望者に公開いたします。

No.	事業名	内容等
1	第 29 回 伊勢原市考古資料展	伊勢原市との共催事業。伊勢原市内における当財団の調査成果のパネル及び遺物の展示。
2	伊勢原市遺跡発表会	伊勢原市との共催事業。伊勢原市内における当財団の調査成果について、伊勢原市の主催する遺跡発表会に提供する。
3	吉田文庫の公開	当財団の初代理事長である吉田章一郎先生の 10,000 冊を超える歴史、考古学関係の蔵書を公開する。